

令和4年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ゆい	代表者	岩崎 光登志	法人・事業所の特徴	弊社は創立以来、地域に根ざした介護サービスの提供を続けています。利用者個人に合ったサービス内容を提供することに力を入れています。週間プランにおいて、細かい利用時間、送迎時間の設定宿泊時間の調整、自宅で過ごすための調整を心がけています。専門的な医療を受けられるように、協力医療機関と連携を密にとり、訪問リハビリ等を継続して行って頂いております。
事業所名	小規模多機能施設 めぐみ (港北区)	管理者	八代 まり		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	5人	0人	0人	0人	3人	人	1人	3人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	変化のある方に限らず、利用者全員についてケアプラン・介護計画書を職員全員で確認、見直しできる体制をつくる。そのために、新しく導入した介護ソフトの情報共有機能の活用ができるように使い方を確認し周知する。	利用者全員についてケアプラン・介護計画書を職員全員で確認、見直しできる体制が作れなかった。新しく導入した介護ソフトについても共有機能の活用が徹底できなかった。	(スタッフが)担当者制をとっていないため個々の利用者さんの背景などわかりにくいのでは。そこを改善できたら地域との繋がりもより強くなるのではないかと思う。	毎月のミーティング時に個別のカンファレンスを行い、一人一人のケアプランについてスタッフ全員で見直しするようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	前回は玄関を中心に整理しましたが、今回は各居室の担当を決めて、清潔で明るい環境を維持していく。毎朝の掃除は引き続き継続していく。	居室担当者だけでなく、全員が環境維持に努め、清潔で明るい環境を維持できた。毎朝の掃除も換気と消毒を徹底しながら継続することができた。		清潔で明るい環境の維持は引き続き継続していく。毎朝の掃除、換気、消毒も引き続き気を緩めることなく継続していく。
C. 事業所と地域のかかわり	個人情報の取扱いに注意しながら SNS を活用して施設をもっと広く地域の方に知ってもらおう。	めぐみのインスタグラムを開設し発信することで、広く地域の方々に施設の様子を知ってもらうことができた。	週1で伺っているがスタッフも感じがよく前よりも明るくなった感じがする。	レクや行事の様子をもっと広く地域の方に知ってもらえるように引き続き SNS を活用していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域のイベント事を回覧板やホームページで把握し、コロナの状況を見ながらできる範囲で関わりを持つようにしていく。	コロナ禍で地域に出向いて行事に参加することはできなかった。		地域のイベント事を回覧板やホームページで把握し、コロナの状況を見ながらできる範囲で関わりを持つようにしていく。

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>引き続き、オープンガーデンに取り組み、来年4月5月開催の『港北オープンガーデン』に参加する。 地域の方や包括の方々と連携しながら地域の方々も参加できるイベント等を企画・提案していく</p>	<p>港北オープンガーデンに参加して、4月5月合わせて72名の方々にご来場いただくことができた。 スタンプラリーも開催し小さいお子様を含めて、広い年代の方々と利用者様が触れ合うことができた。</p>		<p>オープンガーデンには来年も参加して、もっと広く地域の方にめぐみの存在を知ってもらい、地域の方々と関わりを持てるようなイベントを企画・提案していく。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>コロナの状況を見ながら地域の方や消防署と共に防災訓練を実施していく。</p>	<p>コロナ禍で防災訓練は地域の方や消防署と一緒にできなかったが町内会の防犯パトロールには参加できた。 災害時の非常食、水、毛布などは備蓄している。</p>		<p>施設の防災訓練に地域の方や消防署の方にも参加して頂けるように検討していく。 災害時の事業継続計画（BCP）策定に取り組む。</p>